

3年（ ）組 氏名（ ）

国会は、衆議院と参議院の2つの議院（国の政治を話し合う場所）があります。今回その中の衆議院が解散し、選挙を行うことになりました。選挙は10月22日に投票が行われる予定になっています。

衆議院と参議院の 比較図

上の資料を見てわかるように、衆議院と参議院は、それぞれ「議員数」「任期（議員でいられる期間）」「議員になれる年齢」「解散」が異なっています。

日本では、私たちの暮らしに関わることを、私たちが選んだ代表者（議員）たちが話し合っていていく仕組みになっています。そのため、だれを選ぶかは、とても大切なことです。

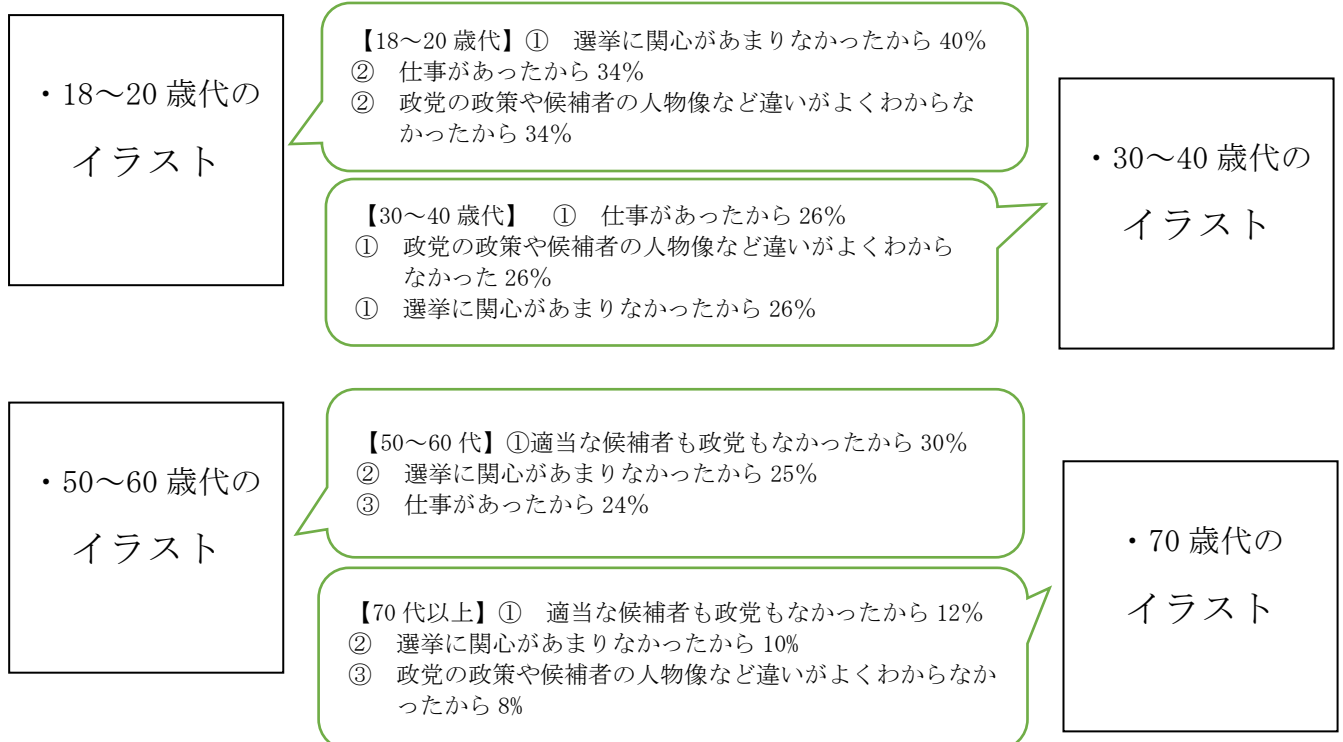
- 1 ところが、最近の選挙では、外国の選挙と比べると「あること」が問題になっています。その問題となっているのは、いったい何でしょうか。平成28年に行われた参議院の選挙についての資料を見てみましょう。（別紙プリントを見ましょう。）

()

- 2 実際に投票に行った人たちを年代別に分けると、どのようなことが分かるでしょうか。

()

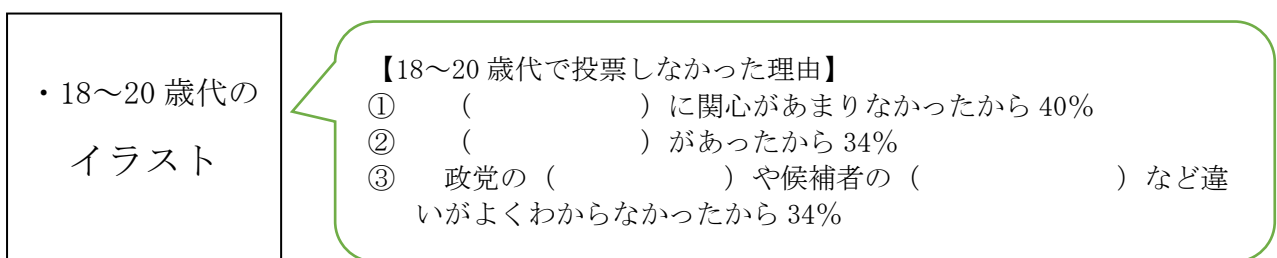
投票率が低いということは、投票に行かない人がいるということです。このような人たちの意見には、次のようなものがあります。



日本国憲法には次のように書かれています。

第 15 条 ① 公務員を^{せんてい}選定^{※1}し、及びこれを^{ひめん}罷免^{※2}することは、国民固有の権利である。
 ※1…多くの中から目的や条件にあうものを選ぶこと ※2…職務をやめさせること
 ※議員も公務員にふくまれます。

国民の代表を選ぶ選挙は、私たちの権利です。「選挙権を持ちながら、投票に行かない人たち」の中でも、最も投票に行っている人が少ないのは「18～20 歳代の人たち」です。



若者の投票率が低いと何が問題か？

- 一. 政治家が強い支持を背景とした政治をやりにくい
- 一. 政治家が高齢者の声ばかり耳を傾けるようになる
- 一. 日本の将来をになう世代の考えが政治に反映されにくくなる
- 一. 少子高齢化の進行と重なって、ますます若者の声が政治に届かなくなる



【単元を貫く学習課題】 若者の投票率を上げるための手立てを考えよう

【単元を貫く学習課題】 若者の投票率を上げるための方法を考えよう

若者の投票率が低いと何が問題か？

- 一 政治家が強い支持を背景とした政治をやりにくい
- 一 政治家が高齢者の声ばかり耳を傾けるようになる
- 一 日本の将来をになう世代の考えが政治に反映されにくくなる
- 一 少子高齢化の進行と重なって、ますます若者の声が政治に届かなくなる

1 【単元を貫く学習課題】について、今の考えを書いてみよう。

「若者の投票率を上げるための手立て」として、今私が考えているのは、

[手立て]

2 学習計画を見て、学習のめあてを考えよう。

学習内容や学習活動	時間	自分がかんばりたい学習のめあて
①学習の見通しを持つ	0.5	
②国の政治のあらましをつかむ	5	
③単元を貫く問いについて考える	2	
④パブリック・ディベートを行う	1	
⑤振り返りを行う	0.5	

【単元を貫く学習課題】 若者の投票率を上げるための手立てを考えよう

◎【単元を貫く学習課題】について、班でアイデアを出し合い協力して、下の発表原稿をつくろう！

【1】若者の投票率が上がらない原因の中から選ぶ。

私たちは、若者の投票率が上がらない原因を、

と考えた。

【2】原因に対して、どのような手立て（方法）を考えたか。

私たちは、この問題の原因に対して、

と考えた。

【3】この手立て（方法）をすることで、おこる長所を書く。

【4】この手立て（方法）をすることで、おこる短所を書く。

【5】この手立て（方法）の根拠になる資料

